

LION news

2019/12/10
第 1427 回例会

11月22日、金沢ニューグランドホテル3階「パラッツオ」にて金沢ライオンズクラブと金沢東ライオンズクラブの合同例会が開催されました。

金沢ライオンズクラブ中浜淳会長の挨拶では、前回この合同例会があったのは2005年11月25日に「つば甚」で開催されました。この年の夏に金沢市主催のビールパーティーに参加した時、金沢LCの中川Lと金沢東LCの清水Lに「お前暇やろ」「昼飯食いに来れば良いぞ」とライオンズクラブに誘われてどんなクラブかもわからずに、後から送られてきた書類を書いて出したところ、今から思えば金沢LCからの書類だったようで、清水Lから「お前どこに出したんや」と言われたのを覚えています。もしかしたら自分は金沢東LCに入っていたかもしれません。それを皆さんに伝えたかったのが今日の一つです。こうして縁がありまして、こういう合同例会ができたことを大変嬉しく思いますし、まずこれに賛同して頂きました金沢東LCの野村会長、北川幹事、そして皆様には心から感謝申し上げます。

なぜこの合同例会をもう一度したかったかと言うと、自分が入会したのが2005年の8月でした。その年に合同例会があったことすら知らないメンバーがかなり多くなりまして、前回の合同例会を知っているのは金沢LCで35%、金沢東LCで40%くらいです。つまりクラブの過半数以上が新しいメンバーで支えている事になります。同じ家(事務所)にいる二世帯住宅として今まで合同例会が無かったのが疑問でした。来年、金沢東ライオンズクラブは60周年を迎えるという事もありますし、新入会員で入った年以来で自分が会長の今年合同例会ができて良かったです。



金沢LCは石川県で最初のクラブで、福井、加賀、小松、金沢東、羽咋、金沢中央と6つのクラブをエクステーションしました。金沢東ライオンズクラブの時は決して仲たがいでわかれたのではなく、金沢にもっと奉仕の輪を広げたいというのが金沢LCの考えだった

ようです。いろいろ転機はありましたが、今は同じ部屋にある事務局の力もあって両クラブがうまくいっているのではないかと思います。

金沢東ライオンズクラブ野村正典会長の挨拶では、「いつもでしたら話は長いのですが時間も迫っているという事で今日は短く話したいと思います」と前置きがあり、和やかな雰囲気での始まりでした。クラブ設立の際は金沢ライオンズクラブから50名の転籍者があってプラス14名でスタートした我がクラブも来年CN60周年を迎えることとなります。前回2005年の合同例会の時は私が計画委員長だったのですがどうも思い出せず、「つば甚」で何かをやった事は覚えているのですが大変申し訳ございません。私の父も金沢ライオンズクラブに長く在籍させていただいた事もありましてこの合同例会を楽しみにしていました。14年間の年月は空きましたが、こういう例会が毎年あっても良いのではないかと思います。

例会後に行われた懇親会では両クラブの垣根、年代をこえての交流や、お互いのアクティビティの紹介や、両会長から事務局員へ感謝の気持ちを込めたプレゼントもあり、とても有意義な時間を過ごすことができました。

テーブルツイスター登場では徳木テーブルツイスター代理(金沢LC)と中田テーブルツイスター(金沢東LC)が二人三脚で登場して会場を沸かせました。

中締めでは金沢ライオンズクラブ第一副会長の宮丸Lと、金沢東ライオンズクラブ第一副会長の桑島Lの挨拶をされ、来期は合同ゴルフコンペを行いその次の年は合同例会と交互に交流をしたらどうかと提案がありました。今後の両クラブの交流がとても楽しみです。

最後に参加者全員でまた会う日までを唱和して終演となりました。個人的には金沢ライオンズクラブの多くのメンバーと交流ができ、学生の頃我が社に仕事で来ていた某銀行の方とも再会ができ、楽しく有意義な懇親会でした。(記事・計画委員会 草野哲也)



